地区名 荻川地区

<p>今年度の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・荻川地区社協スタッフ会議（5/10、7/5、9/6、10/4、12/6、1/10）・荻川やすらぎの間(通年) ・認知症講演会打ち合わせ（5/18）、講演会（7/7） ・おぎかわあったかネット(通年) ・地域福祉懇談会（6/13、1/16） ・新津第二中学校認知症サポーター養成講座（6/21） ・車場ふれまち委員会（7/20） ・荻川地区社協視察受入れ（9/19、中央区山潟地区社協） ・歳末見守り事業打ち合わせ（8/20）、説明会（全体会 9/29、荻島町内会、結町内会 10/1）、ふり返り(車場町内会 2/14)⇒実施 10 自治会、町内会 ・相談先一覧表作成（全戸配布） ・荻川地区福祉活動ファイル作成（自治会・町内会長配布） ・支え合いのしくみづくり荻川地区会議（10/24） ・荻川子ども食堂(荻川、川口) ・荻川地域福祉推進連絡会議（11/21） ・結小学校福祉教育（11/25）
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おぎかわあったかネットや荻川やすらぎの間の利用者、参加者を増やしたい。 ・車場福祉委員会のメンバーが交代しても活動できるしくみが必要である。 ・若い世代との関りで考え方の相違がある。 ・長割お茶の間サロンに来られない人の対応が課題 ・区からの避難行動要支援者名簿、個別避難計画については課題が多い。 ・施設及びサービスにつながっていない方がどうしたらつながるかが課題である。(いしずえ) ・介護が必要な方で、本人が介護を必要としない場合の対応が難しい。地域連携が必要。(包括)
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おぎかわあったかネットの取り組みが 17 自治会に増え、7 町内で連絡会議を実施。利用者の健康状態や生活状況がわかるようになった。(中野5丁目が見守りの必要性から取り組みを開始) ・荻川やすらぎの間では法人の協力で送迎を開始。遠くに住む家族も安心の声をもらっている。また、参加者に大変喜ばれており仲間づくりの場になっている。 ・困ったときの相談先一覧表を作成および全戸配布し、自治会・町内会長等で好評である。 ・荻川子ども食堂は、かもしん等の助成金とりご園や個人の寄付を得ており、支援の輪が広がっている。 ・地域連携による歳末見守り事業の取り組みを更に広げることができた。荻川小と結小の子ども達の手紙や結小からのしめ縄飾りも大変喜ばれた。 ・歳末見守り事業は町内会と民生委員と一緒に訪問することに意味がある。ひとり暮らし高齢者にとっても町内に知ってもらうことで安心につながっている。
<p>活動の様子</p>	<p>認知症講演会</p> <p>荻川地区福祉活動ファイル作成</p> <p>第二中学校認知症サポーター養成講座</p> <p>荻川地域福祉推進連絡会議</p> <p>歳末見守り事業説明会(全体)</p> <p>荻島説明会</p> <p>結説明会</p>
<p>次年度へ向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おぎかわあったかネットの継続(自治会・町内会、民生委員、協力員、老人クラブ等と連携) ・緊急情報キットの配布、情報内容の更新を継続 ・荻川子ども食堂と川口ほかご広場の連携の継続 ・荻川やすらぎの間の参加者が増えるよう「広報おぎかわ」に掲載しPRしていく。 ・住民を対象にした認知症講演会を開催し、認知症の理解を更に広げる。 ・歳末見守り事業の配布物品について検討する。(コミ協全体で揃えるか又は社協で用意した物に町内独自の物を加えるか) ・地域の祭りや健康祭りへの参加(おぎの里) ・地域と連携し、防災に力を入れる。(藤の木原福祉会)

[参加者] 荻川コミ協：窪田会長、加納副会長、中村副会長、田中副会長、鈴木事務局長、
 荻川地区社協：関代表、星副代表、関道子副代表、曾我スタッフ、自治会・町内会：田中会長(あおば通町内会)、
 加納会長(こがね町)、田村会長(中野連合町内会)、伊藤会長(荻島自治会)、渡辺会長(車場町内会)、
 荻川民協：中野会長、横山副会長、高橋会計、福祉施設関係：羽深主任 CM(包括新津)、伊庭施設長(地域活動支
 援センターいしずえ)、佐藤理事長(藤の木原福祉会)、栗原士長(おぎの里)、
 秋葉区社協：横山事務局長補佐(地区担当)、加藤(支え合いのしくみづくり推進員)